

## 平成27年度第4回図書館協議会議事録

1 開催日時 平成28年3月5日(土) 午前10時～12時

2 開催場所 中央図書館2階視聴覚室

3 出席者

(委員) 押樋委員長 埴副委員長 松本委員 菊地委員 杉村委員  
服部委員 須賀委員 西村委員 大野委員 水田委員  
(事務局) 斎藤館長 長田副館長 白沢係長 森田係長 小林副主査

4 議題

(1) 報告事項

- ①平成27年度利用統計及び事業報告について(12月から1月)
- ②図書館カルチャー及び講演会について
- ③図書館協議会視察について
- ④その他

5 議事の概要

- ①平成27年度利用統計及び事業報告(12月から1月)について、事務局より報告を行った。
- ②図書館カルチャー及び講演会について、事務局より報告を行った。
- ③図書館協議会視察について、事務局より報告を行った。
- ④「うらやす震災復興祈念のつどい」について、事務局より案内を行った。  
富岡分館のリニューアルオープンの予定について、事務局より報告を行った。

6 会議経過

- ①平成27年度利用統計及び事業報告(12月から1月)について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(質問) 開館日数が5日増えているのはなぜか。

(回答) 主に月曜開館の増加分である。

(質問) 案内サービスの内容で、富岡の休館に関することが多いとあるが、これはマイナス要因なのか。

(回答) そういうわけではない。

(意見) 統計の報告について、分析が足りないように感じる。増減やその要因は書かれているが、それをどう捉えればよいのか、対策はどうするの

か、きちんと分析を進めてほしい。

(意見) スマホ版OPACについて、画面の記述で著者紹介の見出しが「責任に関する記述」となっている。委託業者が間違っているのであろうが、仕上がりは精査すべきであろう。

(意見) その表現は、図書館用語としては正しい。ただし、一般的な用語ではないので、言い換えたほうがわかりやすい。

(回答) 専門用語は、基本的には一般的な用語に置き換えて表示するようにしている。ご指摘の件についても検討する。

(意見) 図書館でITリテラシーの講座などもあるとよい。

(回答) 市民向けの検索講座としては、「図書館利用講座」という事業を行っている。少人数制で行い、フロアに出て本の探し方も説明する。講座で配布するパンフレットも、受講者以外にも配布できるものを、現在作成中である。

(意見) 市民でどのくらいの割合の人が登録しているのか、その中で実際に利用している人の割合等の数字を出している図書館がない。浦安ではそういったデータもとるといいのではないか。

(意見) 公民館でも同様のことが課題となっている。子どもたちが大勢ロビーに来て利用しているが、数字上はカウントされない。公共施設が市民にとっていかに大切な場所かという実態を、数字では表しきれない。

(回答) 実際に利用している市民の数は、貸出利用率という形では出している。1年間で1回以上本を借りた人の率であり、学習室のみの利用や、来館しただけの人はカウントされないが、目安にはしている。実際に、登録だけして借りずに帰ってしまう人も多くいる。

(意見) 本を借りたりしなくても、来館してくれるだけでよしとしなければ、貸出至上主義からは脱却できない。

(質問) 児童サービスについて、類縁機関へのサービスが減少してる理由として、業務との兼ね合いとなっているが、今後はどうなっていくのか。

(回答) 状況として、保育園数が大幅に増えたこと、また一方で職員数が減少していることがある。館内の業務もあるため、保育園での開催回数を制限させてもらった結果である。今後も、できる範囲で維持していきたいとは思っている。

(意見) 職員数の減少は浦安市に限らず、どこの図書館でも起こっていることであり、今後も増えるとは考えにくい。むしろ直接的なサービスではなく、保育士や保護者等に研修・講座を行うなど、間接的な働きかけが必要である。

(回答) 図書館職員だけで全てを行うことはできないので、現在も保育士・教師・読み聞かせボランティアへの講座や研修を行っている。今後も、子どもへの直接サービスと間接サービスの両面から働きかけ

ていきたい。

(意見) 今、全国的に図書館ボランティアは読み聞かせがメインである。これも図書館員が指導するべきであろうと思う。

行事については、多すぎるように感じる。職員数も減少し、開館日も増えているのであるから、やめていいイベントもあるのではないかと。優先順位をつけ、方向性を示してもらいたい。

(意見) 子ども会の関連でも、図書館ともっと連携して、司書のパワーを利用していきたい。

(意見) 図書館内で活動する読書会について、高齢化が進んでいる。もっと若い人が集まるイベントがあると、それをきっかけに若い人向けの会が立ち上がるのではないかと。

(意見) ベストセラーについて、寄贈を呼びかけるポスターがあったが、大々的に行うべきだと思う。

(意見) 先日、図書館で新刊書を貸し出すのをやめてほしいというニュースを見た。

(意見) ちょうど先日、全国の図書館に関連の小冊子が送られた。かなり以前からある議論であり、一度調査もされたようだが、図書館で本を貸すために本が売れない、という明確な関連性が見つけられなかった。

(意見) 本の寄附については、受け付ければ装備・受け入れ・廃棄などコストがかかるので、必ずしも効果があるとは言えない。やるなら、装備を簡易にするなど工夫が必要であろう。

(質問) 順天堂大学病院の図書コーナーは図書館で運営しているのか。

(回答) 図書館で運営している。現在改修工事のため閉鎖しているが、図書館の本を団体貸出して、コーナーに設置し、入院中の患者さんに借りて行ってもらえるようにしている。

(意見) 入院中は図書館に行けないので、とても良いサービスだと思う。

(意見) 分館で紙芝居枠の貸出をしてくれた。知らない人も多いようだが、もっとPRしてはどうか。

(意見) 紙芝居の舞台は木枠だと高価な上に重い。在庫が少ないと貸出もできない。公民館と連携して手作りする講座などを企画してはどうか。

## ②図書館カルチャー及び講演会の実施状況について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

(意見) 行事の際に関連資料のリストを作成して、図書館の存在感を示しているのがよい。

(意見) 参加したが、とてもいい講演会だった。

(意見) 文学系以外のジャンルもあるのがよい。

(意見) 企業と連携したものもあってよいのではないか。

(質問) 対象は浦安市民か。

(回答) 事業にもよるが、市民優先を原則としている。

③1月20日(水)に行った図書館協議会視察(市内分館見学)について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(意見) 各館の担当の司書ががんばっている印象だった。

(質問) 高洲分館にはインターネット端末があったが、蔵書検索用の端末は別にあつた。併用はできないものなのか。

(回答) インターネット端末は利用履歴をとっているものだが、蔵書検索は誰でも自由に利用してもらっている。併用すると、蔵書を調べたいだけの利用者にも不便をかけるので、別に設置したほうがよいと考えている。

(意見) 可能であるなら併用できたほうがよいと思う。また、自動貸出機もよく使われていたが、館内の隅のほうにあるので、もっと中央に設置したほうがよいのではないかと思った。

④その他

3月13日(日)開催の「うらやす震災復興祈念のつどい」において実施する「浦安震災アーカイブ」のPRについて、事務局より案内を行った。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(意見) 「浦安震災アーカイブ」で、最近動画のコンテンツが増えてきたが、コメントやテロップが入っていないため、いつのどの場所の映像なのかわからない。

(回答) まだそこまでの工夫はできていないため、今後取り組んでいきたい。

富岡分館のリニューアルオープンの予定について、事務局より案内を行った。

意見(質問)は特になし

7 傍聴者 なし